



都の西北

2022年(令和4年)10月1日

早稲田大学校友会 昭島稲門会会報 第12号



巻頭雑感 会長 梅田正宏

3年目を迎えた新型コロナウイルスの感染爆発はとうとう第7波に至りましたが、私たち高齢者にとっては一日も早く収束へと向かうことが切望されます。

今年度はコロナ問題に加えて次から次へと世界を、日本を震撼・驚愕させる事件や出来事が頻発しました。先ずは2月に発生し、現在も続いているロシアによるウクライナへの軍事進攻(侵略)があり、核戦争への恐怖さえ覚えます。次には7月に安倍晋三元総理に対する暗殺事件で、カルト教団と政治家との癒着問題が大きな社会問題となりました。ペロシ米下院議長の訪台に伴う米中間の軋轢には日本も無縁では済まされません。更には東京五輪・パラリンピックをめぐる汚職事件は昨年の感動を色褪せさせました。資源価格の上昇や円安による消費者物価の上昇が止まりません。

良いニュースが全く無くストレスは溜まる一方ですが、昨年同様米国MLB(大リーグ)大谷選手が二刀流で大活躍してくれ、104年振りにベーブルースの記録に並んだことも快挙で、テレビ中継に一喜一憂してくぎ付けにされました。

前置きが長くなりましたが、昨年同様稲門会活動は従来行ってきた行事の大半は自粛せざるを得ない状況が続いており、特に飲食を主とした親睦行事は全く行われておりません。

幸いなことに総会はコロナ感染状況が低位安定していた11月14日に対面にて開催出来ましたが、来賓は大学

から多摩地区地域コーディネーターの高橋宜之課長をお迎えしたのみで、懇親会も中止しやや寂しいものとなりました。第二部では会員の浅野正直さんに「最近の早稲田」と題して楽しい講演を頂きました。

昭島稲門会として平成4年度(2021年10月1日~2022年9月30日)に実施できた行事は、サークル活動ではゴルフコンペ2回、ハイキング2回、シネマの会1回、カラオケ3回で、外部との交流は商議委員会、三多摩支部会長会、幹事長会などすべてZOOM会議となりました

なお、本年度第38回定期総会は以下により実施する予定です。会員の皆様のご参加をお願いします。

1. 日時: 2022年11月13日(日) 14:00~
2. 場所: 昭島市民交流センター 2階 会議室



第37回定期総会



残念なお知らせです。会員の小稔輝久さんが4月28日、享年94才で天寿を全うされました。小稔さんは昭和26年法学部卒。昭島稲門会では最長老の大先輩でしたが、懇親会などにもよく参加してくださり、その穏やかなお人柄は誰からも好かれました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

| | | |
|----|--------------------------------------|-----------------------------------|
| 目次 | P1…会長挨拶 「巻頭雑感」 | P3…会員の紹介 森 正治さん(新入会) 信國成保さん |
| | P2…サークル活動の紹介 カラオケ・ハイキング・ゴルフ・シネマの会 | P4…「漫画 WOB さん」ほか |

☆☆サークル活動の紹介☆☆

カラオケ倶楽部

〇月△日 「まねきねこ」にはカラオケ会としては少し多めの9人が集合 小さな缶ビールで乾杯後、各人が歌を唄いはじめました。9時～12時まで交流会的なカラオケ会は、滞りなく時間が過ぎました。というような記事がかけるのは、何時になることやら・・・この2年半、カラオケ会はたった4～5回の開催にすぎませんでした。

しかし、コロナの状況が改善すれば以下のように開催しますので、毎月20～25日にお送りする開催の有無のメールを確認してご参加ください。

“毎月最終日曜日 9時～12時 まねきねこ
36～38号室のいずれか 会費¥700”
となっています。

こんな時期カラオケ人は何をしたらよいのか？
これまで何回か書きましたが、毎日歌を口ずさむことです。小さな声でも出さないと高音が本当に出なくなります。筆者は、最近またネットで仕入れたCD500枚以上を、まず題名、歌手、作曲家で選び、心に響く歌を探し続けています。(岩田記)

ハイキングサークル



春、秋の年2回開催しております。コロナ禍でも屋外での活動ですので2020年春は中止しましたが、その他は全て実施しております。昭島周辺で高齢者でも参加できる、アップダウンの少ない名所を探して実施しております。手近なところでは昭和記念公園は何度も選ばれております。

2022年4月19日春のハイクは久し振りに遠出をしました。晴天に恵まれ、参加者8名は西武秩父線横瀬駅からのんびりと田園風景を楽しみながら30分程歩いて秩父羊山公園の芝桜の丘に到着しました。独特な外観を示す武甲山と一面の芝桜とのコントラスト

を楽しみました。コロナ感染対策により芝桜公園では飲食が出来ませんでした。公園を出て直ぐに良い場所を見つけ昼食後、秩父市街が俯瞰出来る見晴らしの丘からの展望を楽しみました。その後、秩父市内に下りて駅ビルで懇親を楽しみました。

ハイキングについては力強い助っ人・秋山さんが新入会してくれて場所選定から詳しい案内文まで作成してくれます。秋山さんは山登りが趣味で野草にも造詣が深く楽しさの幅を広げてくれます。皆さんも是非ご参加下さい。(梅田記)

ゴルフコンペ



新型コロナウイルスの感染者数は高止まりの状況が続いています。そんな中でも、ゴルフは最も感染し難いスポーツと言われています。昼食時

さえ気を付ければあとは個人個人が大自然を相手です。昭島稲門会では、2019年秋と2020年春を除き毎年続けています。昨年までは毎年5月、10月の日曜日に大月の花咲CCで行っていましたが、行楽シーズンと重なり、帰りの交通渋滞が避けられないため参加の皆さんと話し合い、今年からは平日、そしてより近い武蔵野GCに変更しました。その第1回目は今年5月13日(金)に予定していましたが、当日は大雨の天気予報で延期、再戦を7月5日(火)花咲CC(武蔵野GCは取れず)で行いました。この日も生憎の雨、午前中は小雨でしたが午後からは本降り、しかし皆昭和生まれの根性で最後まで回り切りました。この日は女性陣2人が加わりそのせいで皆元気だったのかもしれませんが。優勝はいつも安定した成績の阿島さん(昨秋は岩崎さん)でした。

さて、今年の秋のコンペは11月11日(金)武蔵野GCで行います。奮ってご参加下さい。(山中記)

シネマの会

第1回は平成28年6月開催の当会の一番新しいサークルです。

コロナ禍で休眠状態ですが、再開はメールでご案内します。その節は映画後の感想会も含めて是非ともご参加を。(平田記)

入会しました

森正治(もりまさはる)さん 昭和23年生まれ 同45年法学部卒

ゴルフ、90切り頑張るぞー(つもり)



赤猪岩神社前で

老いてからの禁句は、「説教」と「昔話」と「自慢話」だそうで、お陰様で説教できる程の人間ではないし、人様にお話してできるような昔話はないし、自慢話は何もない。そのようなことで今、思うことです。

在職中は転勤を重ねて、退職後、昭島の自宅にやっと落ち着いた頃、アメリカのオハイオ州に駐在の夫と共に渡米している長女の出産に合せ、ボディーランゲージだけを頼りにやっとたどり着いた病院での初孫との対面は今でも忘れることはできません。その孫も、既に中学三年生の反抗期盛りの年頃になりました。時の流れとともにその後、五人の女の子の孫を持つことになりました。そして、思うことは日々、耳を塞ぎたくなるようなニュースばかりの世の中で、これからの彼女たちの未来が、どうか安泰でいて欲しいと思います。老爺心?でしょうか。

現在の私は、ほぼ毎日、仕事のようにいや、それ以上に熱心にジムに通って、老若男女とのコミュニケーションを楽しみながら落ちていくばかりの体力に歯を食いしばり頑張りをこらえています。力道山、栃若、ON時代を見て聞いて育った子供時代が、今やっと余るほどの時間ができて、見ているばかりでなくスポーツを楽しんでいます。なかでもゴルフは思うようにならないことが、面白くて悔しくて妻と二人でけんかをしながらラウンドし、夕食時には反省会の晩酌で幸せを感じています。今年も半分も過ぎてしまいましたが、90切り頑張るぞー(つもり)。

出版しました

信國成保(のぶくにしげやす)さん 昭和13年生まれ 同38年文学部卒

「旅はみちづれ そのあとさき」続けてきた旅の記録

稲門会では最高齢の部類だと思いますが(いやまだ上の方がいらっしやるかな)、仕事は現役で、特に土曜日が昼間から夜まで、日曜日もお出かけることが多く、種々の会合はご無沙汰ばかりしています。『アトリエ村絵の会』を妻と二人で58年間続け、この齢まで健康で来られたのは、日々子どもたちのエネルギー浴びているからでしょうか。ワセダ時代の友人とは、クラス仲間(美術史)、サークル仲間(仏教美術)とも、私が呼びかけて60歳前後から旅行を始め、毎回10数名が参加していましたが、コロナ+高齢で自然消滅です。もう一つの旅行は、



秩父困民党終焉の地で(信州 佐久)

独身だった妹が早世し、すぐあとに逝った母と二人が遺していったささやかな蓄えを、兄と二人で分けるよりもと始めた親族旅行。お互いの娘夫婦と孫、時には叔母や従弟も加わって10数名で続けてきたのが今年で26回目になります。また子どもが成人してから始めた妻と二人の旅行もあり、それらの記録を8年前に『旅はみちづれ』として本にしました。



一昨年(2021年)の2月、当時の安倍首相が一斉休校という愚かな要請を出したとき、アトリエは大家さんの貸駐車場(松原町の昭島学館脇を入る)の広い塀に壁画を描き《青空アトリエ》を開いて続行しましたが、4月の緊急事態宣言でやむなく3週間アトリエを休みにしました。その時思いついたのが続編で、その後8年間の旅と朝鮮からの引き揚げなど子ども時代の追想を加えて、この4月に『旅はみちづれ そのあとさき』として上梓しました。

装幀=入谷優さん(アトリエOG)

三多摩支部大会 3年ぶりに開催

9月4日(日)午後1時30分から、3年ぶりに早稲田大学校友会三多摩支部大会が立川市のホテル日航立川・東京で開催されました。昭島稲門会からは8名が参加しましたが、大会は各稲門会から総勢 215名もの校友が集まり盛大なものとなりました。



第一部式典では、来賓の田中総長から「世界で輝く WASEDA」をめざす熱い思いが1時間近くにわたって述べられました。ときに慶応との比較で笑

いが巻き起こるなど、時間を感じさせない中身の濃い話に皆さん聞き入りました。

第二部では「早稲田大学モダンジャズ研究会 OB バンド LIVE」「座談会：日本のラグビーとその他のスポーツ」「早稲田大学応援部のアトラクション」があり、最後に早稲田大学応援部のリードで校歌を全員が腕を振りながら黙唱し、お開きとなりました。

コロナ禍の集いでしたが、お互い感染対策には万全な注意を払いながら、久しぶりに早稲田愛に浸ったひとときでした。

今年の稲門祭は対面で開催

一昨年は中止、昨年はオンライン開催となった稲門祭。今年は10月23日(日)、会場内での飲食は禁止となりますが、3年ぶりに対面で開催されます。当日の稲門祭各イベントは昨年同様オンラインでも中継され、ご自宅を含めどこからでも楽しむことができます。

お楽しみの記念品購入に伴う福引抽選もオンラインで抽選の模様を見ることができ、当選した景品は今年も昨年同様ご自宅まで宅急便で配送されます。毎年、昭島稲門会ではかなりの確率で当選が出ています。どうぞお楽しみにお待ちください。

稲門祭の詳細やイベントのオンライン中継などは、稲門祭のホームページ (wasedaalumni.jp/tomonsai) からご覧になれます。

ワセダオービーの WOBさん



▲ 漫画の作者は早大漫研OB

編集後記

コロナはなかなか収束が見通せず、この1年も、新春顔合わせや現役学生との交流会など多くの同窓が集まるイベントはすべて中止となりました。お伝えする情報が少なく、会報は2年連続4ページでのお届けとなりました。しかし嬉しいことに3ページ目に紹介のとおり森正治さんが新たに本会に入会されました。アクティブな森さんです。ゴルフコンペなどでぜひ奥様ともども一緒にいい汗を流しましょう。(佐藤清)

発行：早稲田大学校友会
東京三多摩支部昭島稲門会
<http://waseda.akishima-tomonkai.tokyo>

会長：梅田 正宏 電話 541-6008
〒196-0031 福島町2-17-1
umeda-masahiro@luck.ocn.ne.jp

幹事長：山中 皓博 電話 090-9953-7404
〒196-0024 宮沢町2-14-39
yamanaka-akihiro@nifty.com